

S = 1 : 5 0 0

数量総括表						
工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
園業工						
	ボックスカルバート	2300×2300		m	26.3	
	ボックスカルバート	2300×2600		m	4.0	

標準断面図 S=1:100

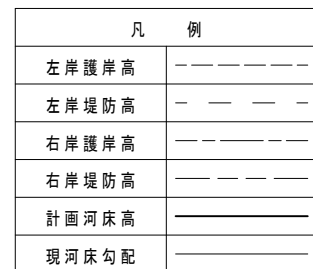
點 名	X 座標	Y 座標
BP	-150365.460	-397578.668
BC	-150365.010	-397571.680
SP 1	-150358.868	-397450.010
No. 1	-150350.736	-397476.360
BC 2	-150348.817	-397481.198
CP	-150349.373	-397471.211
No. 1+16.00	-150338.987	-397411.741
No. 2	-150336.943	-397398.073
No. 3	-150334.724	-39735.753
EC 2	-150333.023	-39731.387
No. 3	-150329.176	-39716.575
BC 3	-150327.385	-39716.575
CP 3	-150327.584	-39710.046
EC 3	-150326.894	-39706.488
No. 4	-150325.321	-39698.963
No. 4+ 8.00	-150324.018	-39696.070
BC 4	-150322.524	-39680.020
No. 5	-150322.014	-39677.239
No. 5- 7.00	-150320.332	-39670.446
SP 4	-150316.630	-39671.747
No. 6	-150315.664	-39658.329
EC 4	-150309.008	-39647.000
No. 7	-150305.067	-39641.402
No. 8	-150293.554	-39625.408
No. 8+13.00	-150286.071	-39614.418
No. 9	-150282.041	-39608.694
SP 5	-150276.812	-39601.858
EC 5	-150274.354	-39599.747
No. 10	-150272.135	-39591.378
EP	-150268.446	-39584.320

座 名	X	Y	種 類
GN1	-150474.301	-98380.959	既設金属風 (GPS)
GN2	-150448.365	-98380.672	既設金属風 (GPS)
T-4	-150207.965	-98343.977	既設金属風
T-5	-150234.514	-98343.598	既設金属風
CT1	-150440.456	-98005.506	新設金属風
CT2	-150393.228	-98759.289	新設金属風
CT3	-150371.446	-98753.459	新設金属風
CT4	-150338.607	-98739.163	新設金属風
CT5	-150329.670	-98669.308	新設金属風
CT6	-150312.360	-98656.628	新設プラスチック杭
CT7	-150303.212	-98632.390	新設プラスチック杭
CT8	-150282.961	-98603.702	新設プラスチック杭
CT9	-150260.455	-98572.923	新設プラスチック杭

点名	1A	R	TL	CL	SL	X座標	Y座標
IP. 1	56° 51' 37"	20.000	10.828	19.848	2.743	-150360.522	-39747.827
IP. 2	66° 47' 20"	20.000	13.185	23.314	3.955	-150336.338	-39744.148
IP. 3	5° 11' 13"	80.000	3.624	7.242	0.082	-150327.484	-39710.063
IP. 4	25° 46' 13"	80.000	18.301	35.982	2.067	-150319.543	-39661.964
IP. 5	10° 09' 41"	60.000	5.334	10.641	0.237	-150276.608	-39600.976

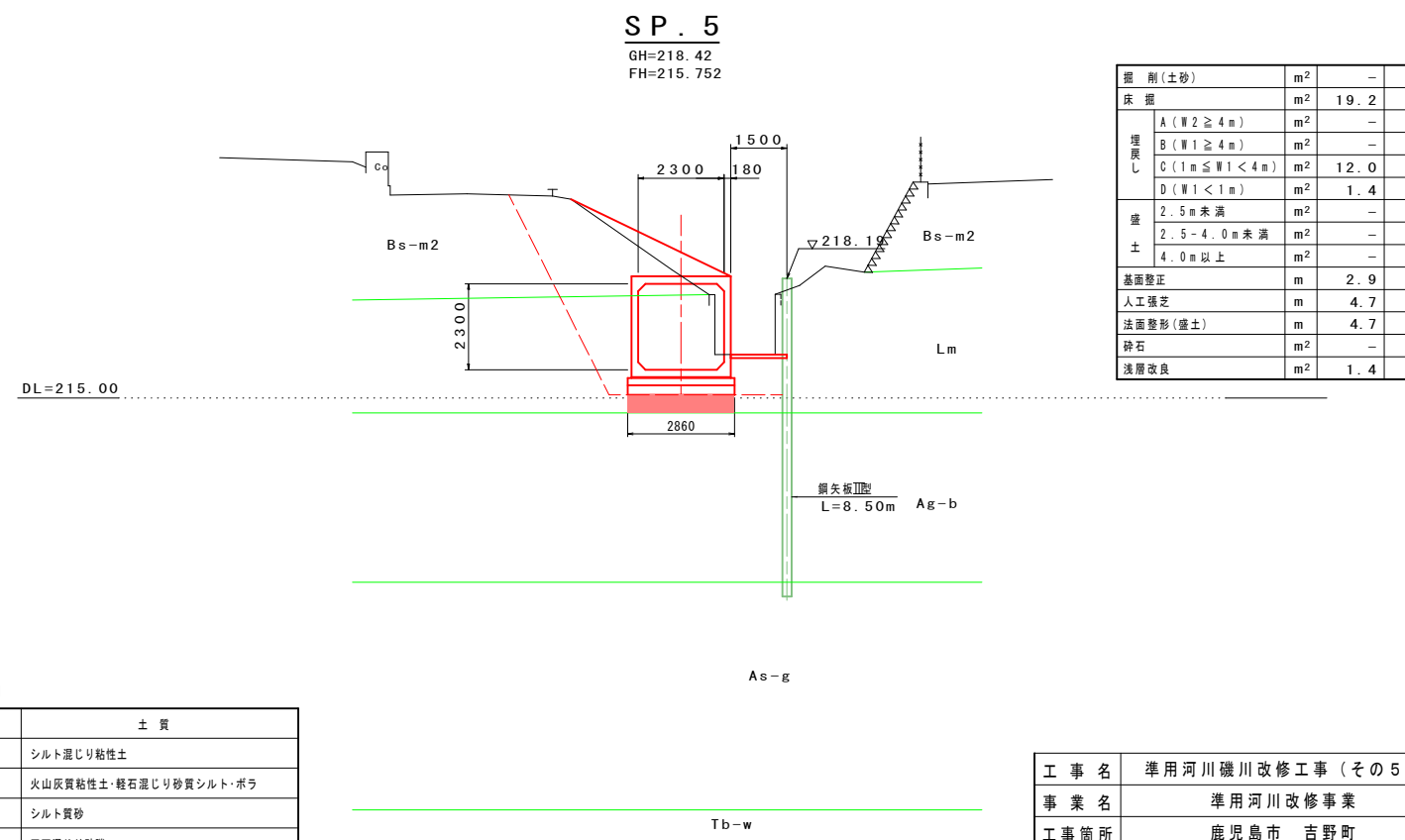
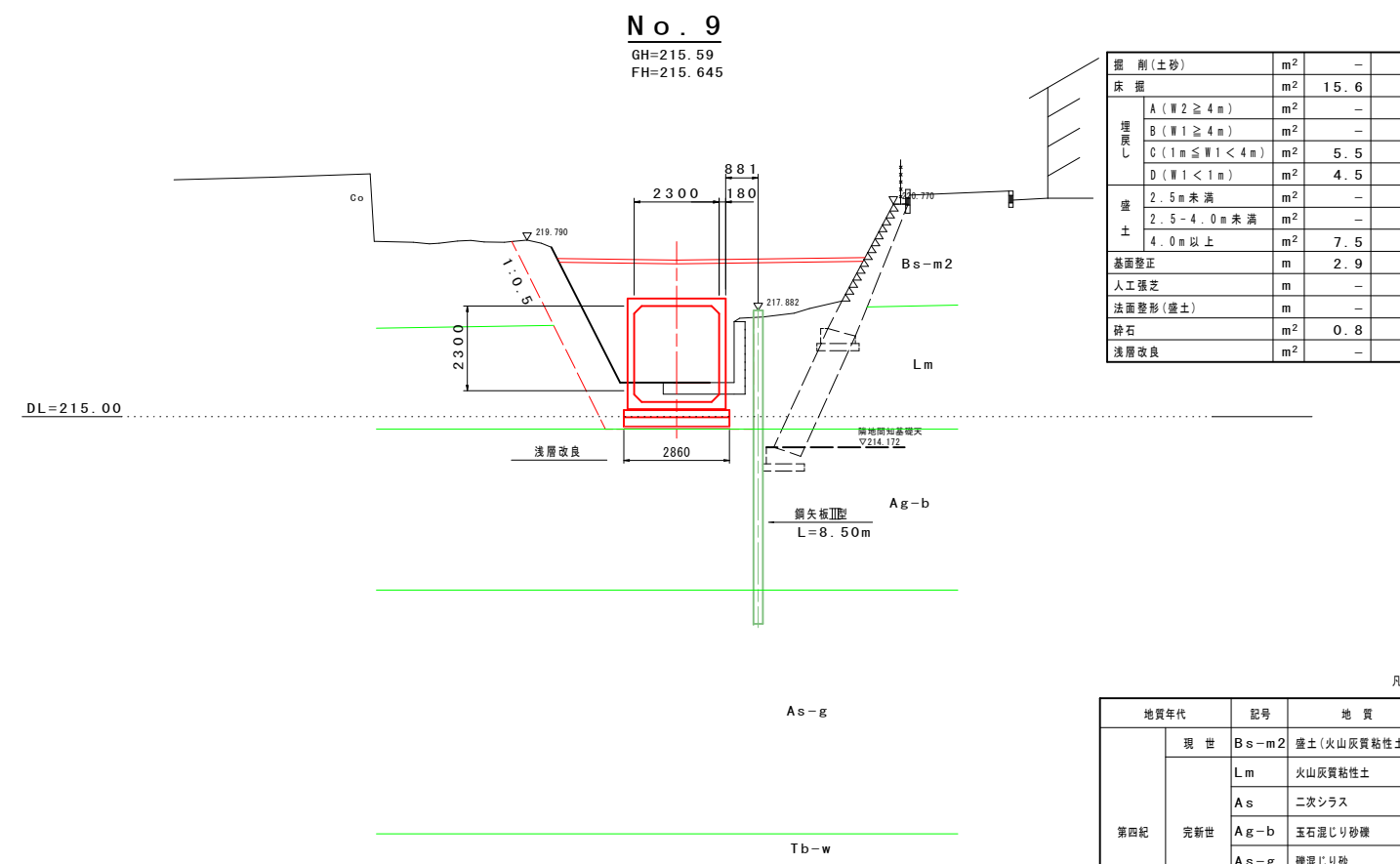
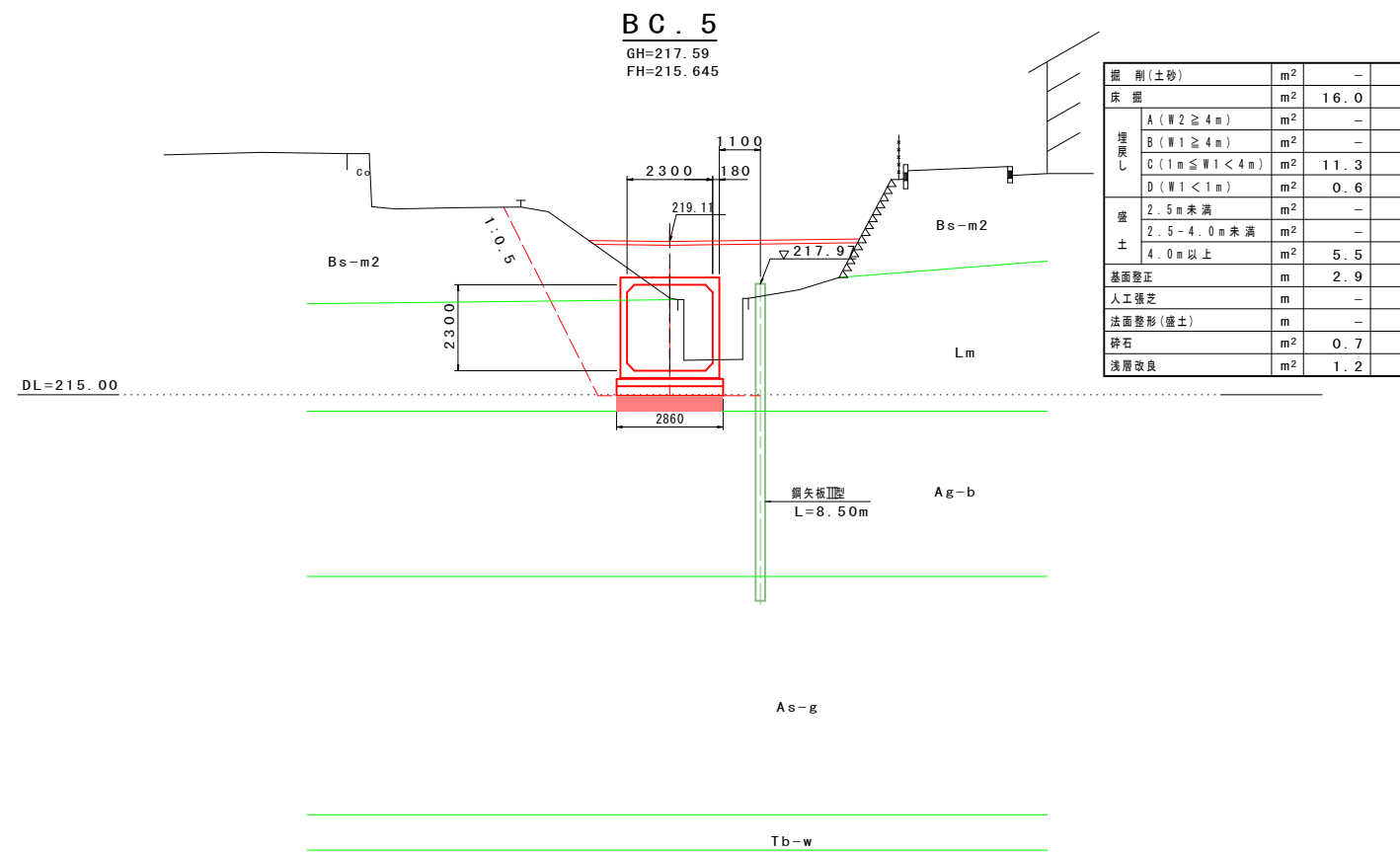
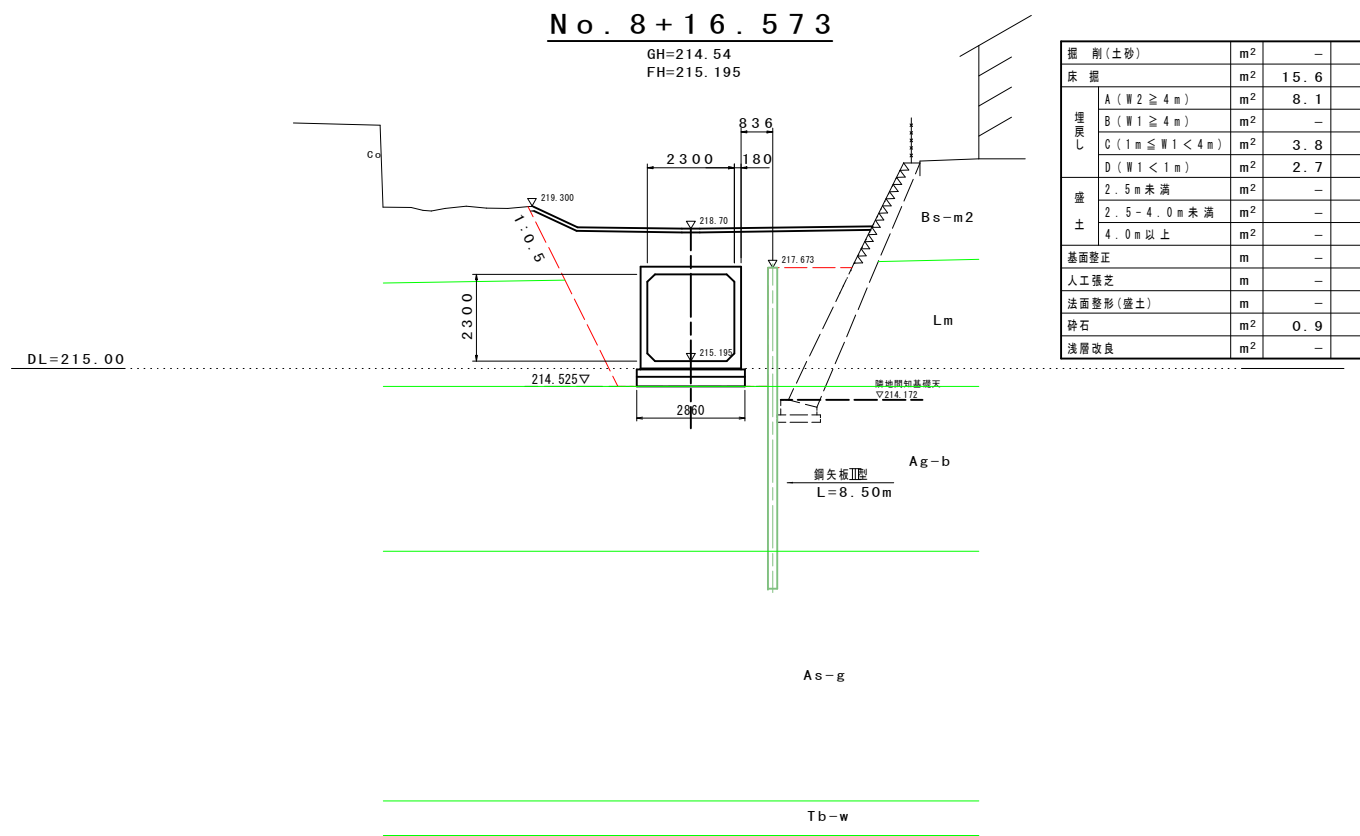
工 事 名	準用河川磯川改修工事（その５）		
事 業 名	準用河川改修事業		
工事箇所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	平面図		
図面番号	全 11 の 1	作 製	令和 8 年 1 月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

※線形について、測量中心線とボックスカルパートの中心線が異なるため、施工の際は、座標管理平面図を確認すること。

$$\begin{array}{l} H = 1 : 500 \\ V = 1 : 100 \end{array}$$


工 事 名	準用河川磯川改修工事（その５）
事 業 名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	縦断面図
図面番号	全 11 の 2 作 製 令和 8 年 1 月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

横断図 (1) S = 1 : 100



凡例

地質年代		記号	地 質	土 質
第四紀	現 世	Bs-m2	盛土（火山灰質粘性土）	シルト混じり粘性土
	完新世	Lm	火山灰質粘性土	火山灰質粘性土・軽石混じり砂質シルト・ボラ
		As	二次シルス	シルト質砂
		Ag-b	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫
		As-g	礫混じり砂	砂礫・凝灰質礫混じり砂
		Ac	礫混じりシルト	礫混じり砂・礫混じりシルト
	更新世	Tb-w	強風化凝灰角礫岩	固結シルト・強風化凝灰角礫岩

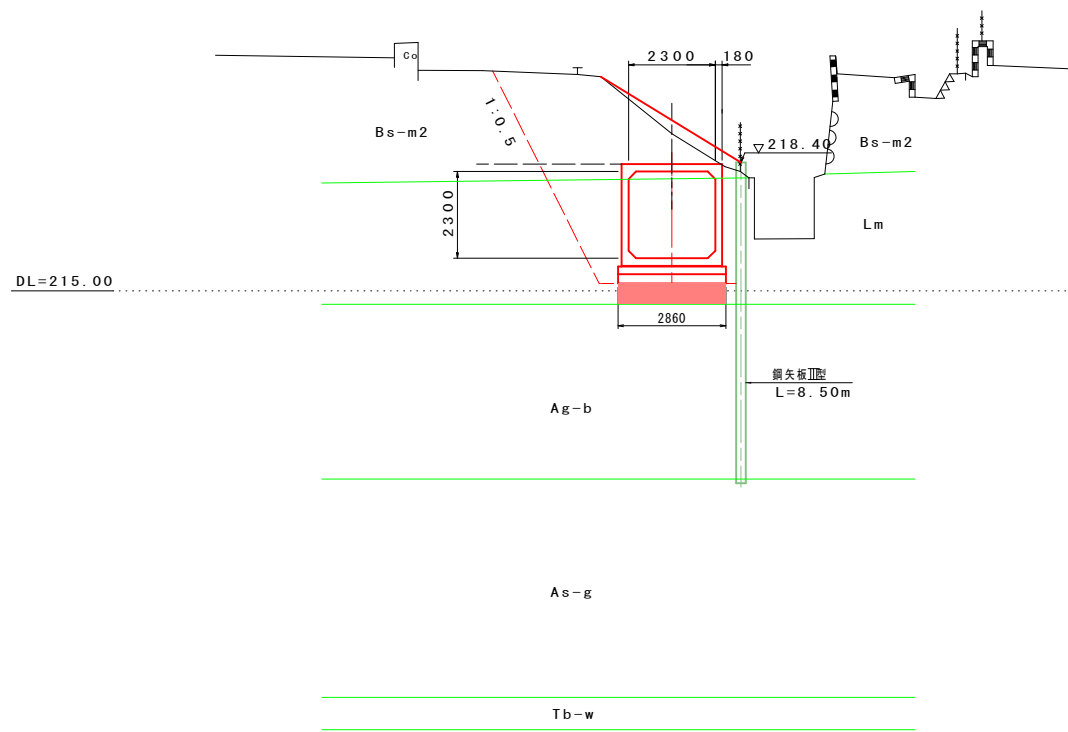
工事名	準用河川磯川改修工事(その5)
事業名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	横断図(1)
図面番号	全11の3
作製	令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

横断図 (2)

S = 1 : 100

EC. 5

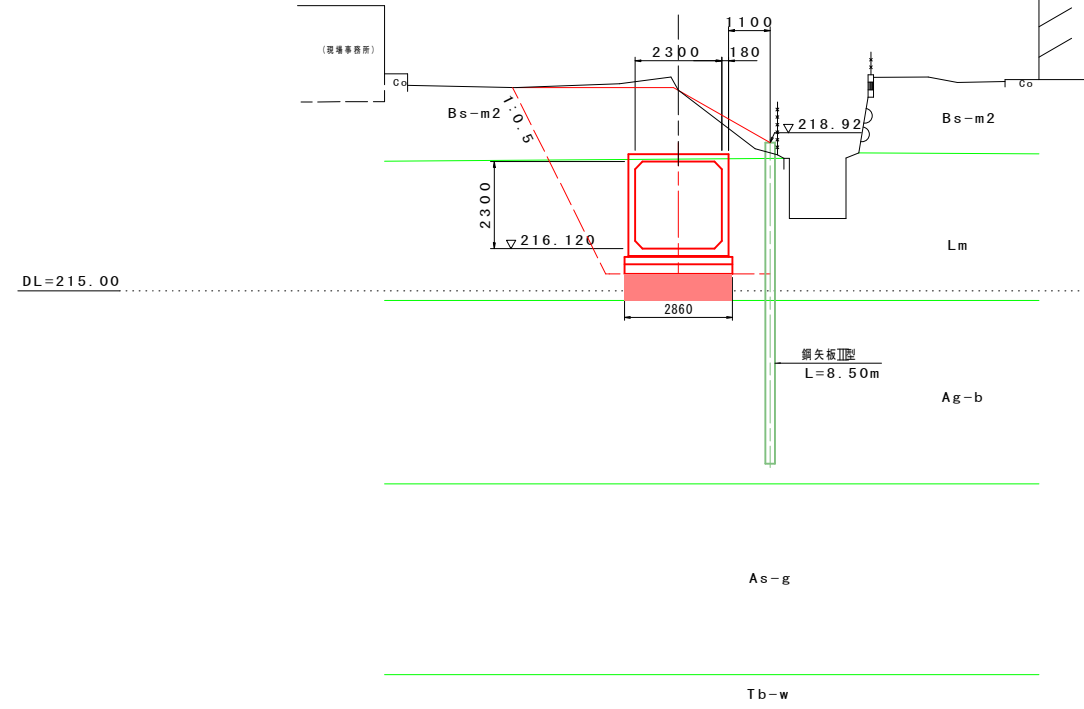
GH=219. 16  
FH=215. 859



掘削(土砂)	m <sup>2</sup>	-
床掘	m <sup>2</sup>	24.7
埋戻し	m <sup>2</sup>	-
A (W2 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	5.8
B (W1 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	-
C (1 m ≤ W1 < 4 m)	m <sup>2</sup>	7.5
D (W1 < 1 m)	m <sup>2</sup>	2.1
盛土	m <sup>2</sup>	-
2.5 m未満	m <sup>2</sup>	-
2.5~4.0 m未満	m <sup>2</sup>	-
4.0 m以上	m <sup>2</sup>	-
基面修正	m	2.9
人工盛土	m	4.4
法面整形(盛土)	m	4.4
砕石	m <sup>2</sup>	-
浅層改良	m <sup>2</sup>	1.6

EP-0. 869

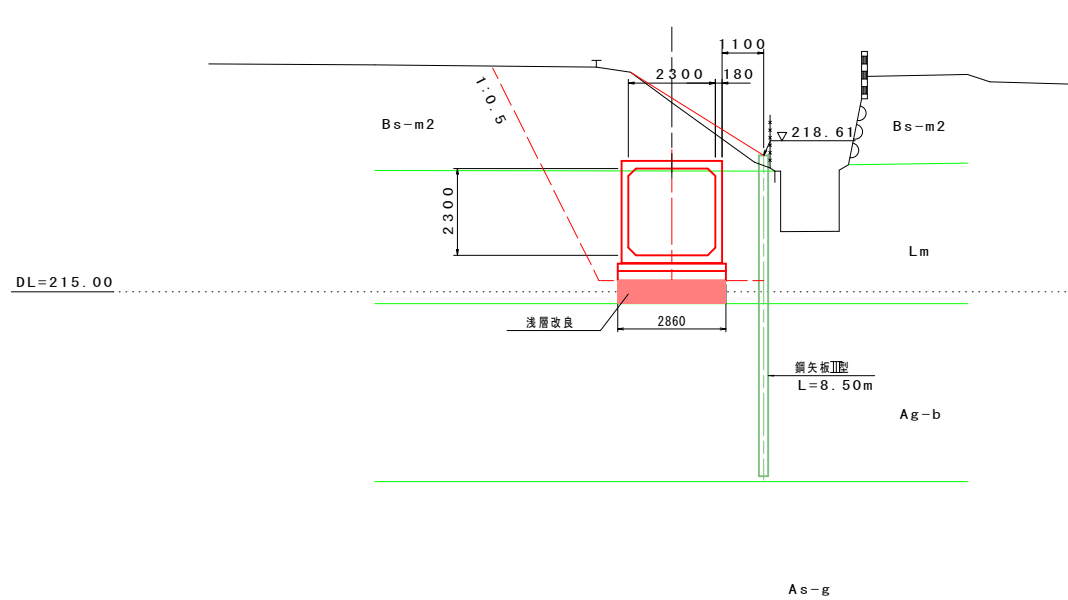
GH=220. 31  
FH=216. 120



掘削(土砂)	m <sup>2</sup>	-
床掘	m <sup>2</sup>	27.6
埋戻し	m <sup>2</sup>	-
A (W2 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	9.3
B (W1 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	-
C (1 m ≤ W1 < 4 m)	m <sup>2</sup>	7.2
D (W1 < 1 m)	m <sup>2</sup>	0.6
盛土	m <sup>2</sup>	-
2.5 m未満	m <sup>2</sup>	-
2.5~4.0 m未満	m <sup>2</sup>	-
4.0 m以上	m <sup>2</sup>	-
基面修正	m	2.9
人工盛土	m	3.0
法面整形(盛土)	m	3.0
砕石	m <sup>2</sup>	-
浅層改良	m <sup>2</sup>	2.0

NO. 10

GH=220. 01  
FH=215. 964



掘削(土砂)	m <sup>2</sup>	-
床掘	m <sup>2</sup>	29.4
埋戻し	m <sup>2</sup>	-
A (W2 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	10.1
B (W1 ≥ 4 m)	m <sup>2</sup>	-
C (1 m ≤ W1 < 4 m)	m <sup>2</sup>	9.0
D (W1 < 1 m)	m <sup>2</sup>	0.5
盛土	m <sup>2</sup>	-
2.5 m未満	m <sup>2</sup>	-
2.5~4.0 m未満	m <sup>2</sup>	-
4.0 m以上	m <sup>2</sup>	-
基面修正	m	2.9
人工盛土	m	4.2
法面整形(盛土)	m	4.2
砕石	m <sup>2</sup>	-
浅層改良	m <sup>2</sup>	1.7

凡例

地質年代		記号	地 質	土 質
第四紀	現 世	Bs-m2	盛土(火山灰質粘性土)	シルト混じり粘性土
	完新世	Lm	火山灰質粘性土	火山灰質粘性土・軽石混じり砂質シルト・ボラ
		As	二次シラス	シルト質砂
		Ag-b	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫
		As-g	礫混じり砂	砂礫・凝灰質礫混じり砂
		Ac	礫混じりシルト	礫混じり砂・礫混じりシルト
	更新世	Tb-w	強風化凝灰角礫岩	固結シルト・強風化凝灰角礫岩

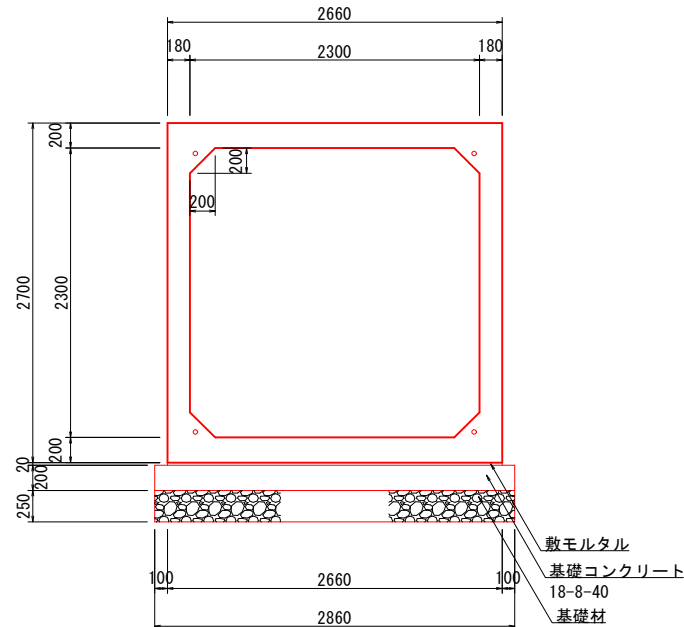
工事名	準用河川磯川改修工事(その5)
事業名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	横断図(2)
図面番号	全11の4
作製	令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部	河川港湾課

ボックスカルバート構造図

S = 1 : 3 0

※ボックスカルバートの施工の際は、基礎底面地盤で  
平板載荷試験を行い、地耐力を確認すること。  
また、必要な地耐力は、下記の通りとする。  
BP～N0.1+16区間 97kN/m<sup>2</sup>  
N0.1+16.0～EP+6.0区間 81kN/m<sup>2</sup>

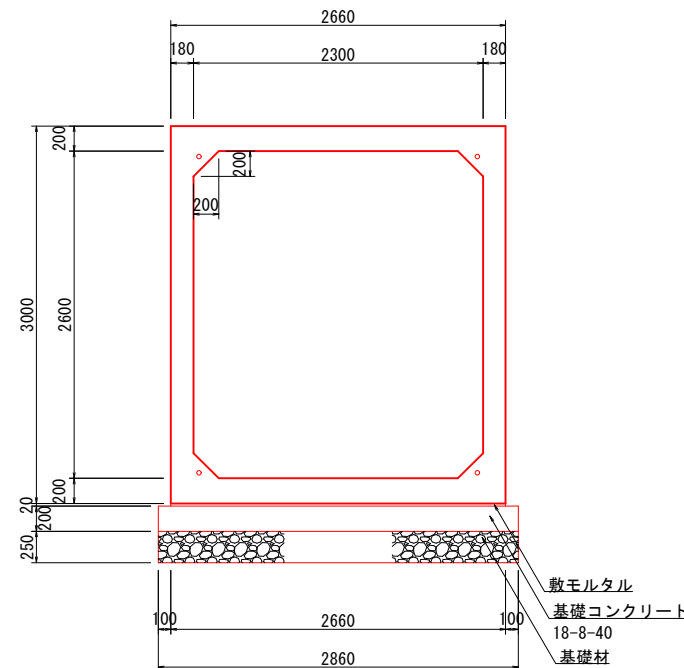
標準断面図  
(2300×2300)



ボックスカルバート (2300×2300) 数量表 10m当り

種 別	規 格	算 定 式	単位	数 量
基 礎 材	t=250mm RC40	2.86×10.00	m <sup>2</sup>	28.60
基礎型枠		0.20×2×10.00	m <sup>2</sup>	4.00
基礎コンクリート	18-8-40BB	2.86×0.20×10.00	m <sup>3</sup>	5.72
敷モルタル	1:3	2.66×0.02×10.00	m <sup>3</sup>	0.53
ボックスカルバート	2300×2300		m	10.00

標準断面図  
(2300×2600)



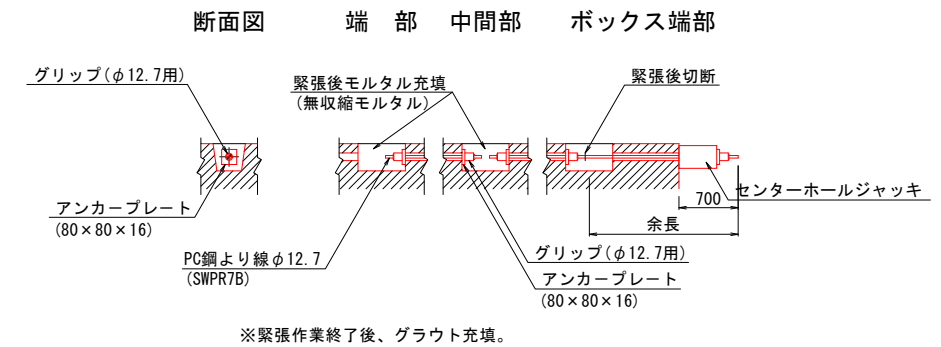
ボックスカルバート (2300×2600) 数量表 10m当り

種 別	規 格	算 定 式	単位	数 量
基 礎 材	t=250mm RC40	2.86×10.00	m <sup>2</sup>	28.60
基礎型枠		0.20×2×10.00	m <sup>2</sup>	4.00
基礎コンクリート	18-8-40BB	2.86×0.20×10.00	m <sup>3</sup>	5.72
敷モルタル	1:3	2.66×0.02×10.00	m <sup>3</sup>	0.53
ボックスカルバート	2300×2600		m	10.00

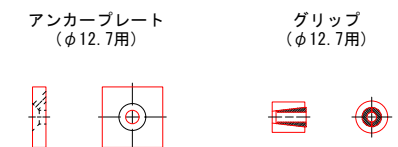
ボックスカルバート数量表

種 別	規 格		単位	数 量
ボックスカルバート L=18.0m	標準部	2300×2300×1500	本	12
ボックスカルバート L=4.0m	標準部	2300×2300×2000	本	2
ボックスカルバート L=4.0m	標準部	2300×2600×1000	本	4
ボックスカルバート L=0.951m	斜 切	2300×2300×1069/833	本	1
ボックスカルバート L=0.978m	斜 切	2300×2300×1096/859	本	1
ボックスカルバート L=1.185m	短 切	2300×2300×1185	本	1
ボックスカルバート L=1.20m	短 切	2300×2300×1200	本	1

PC鋼より線定着部詳細図



部 品 図



縦締工数量表

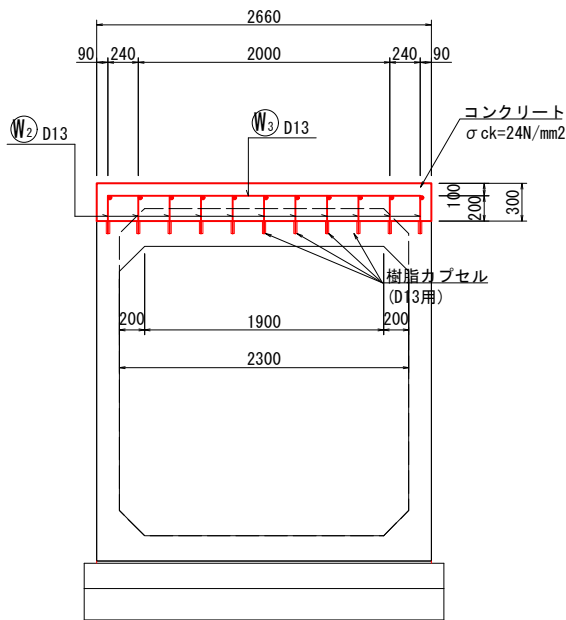
種別	番号	単位	数量	備考
PC鋼より線φ12.7	44	本	4	L=2.435+1.400=3.84 (余長1.400mを含む)
	45	本	4	L=3.000+1.200=4.20 (余長1.200mを含む)
	46	本	4	L=3.000+1.200=4.20 (余長1.200mを含む)
	47	本	4	L=4.500+1.450=5.95 (余長1.450mを含む)
	48	本	4	L=4.500+1.450=5.95 (余長1.450mを含む)
	合計	本	20	ΣL96.56m
グリップ		個	40	
アンカープレート		枚	40	

工 事 名	準用河川磯川改修工事（その５）
事 業 名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	ボックスカルバート構造図
図面番号	全 11 の 5 作 製 令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

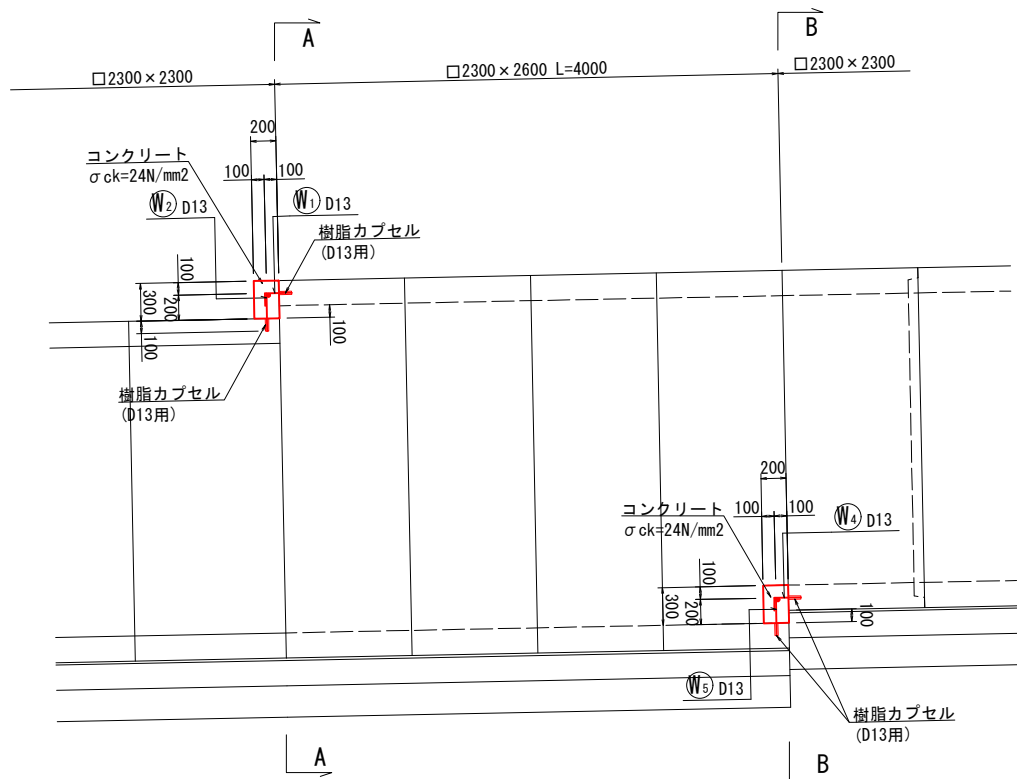


落差工構造図 S = 1 : 3 0

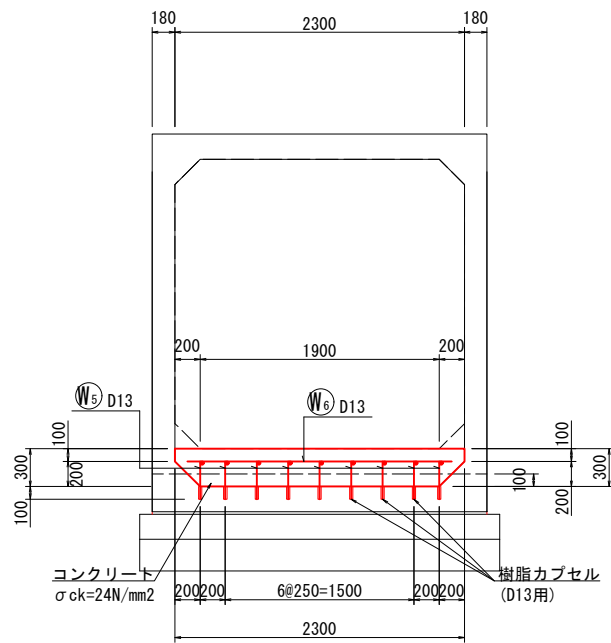
上部コンクリート壁（300型） 断面図  
A－A断面図



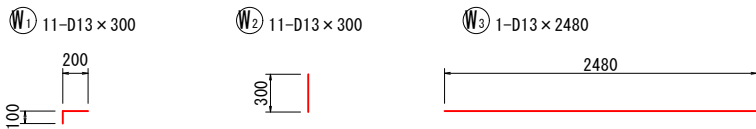
側面図



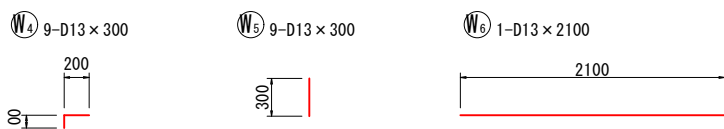
下部コンクリート壁（300型） 断面図  
B－B断面図



鉄筋加工図



鉄筋加工図



上部コンクリート壁（300型） 数量表

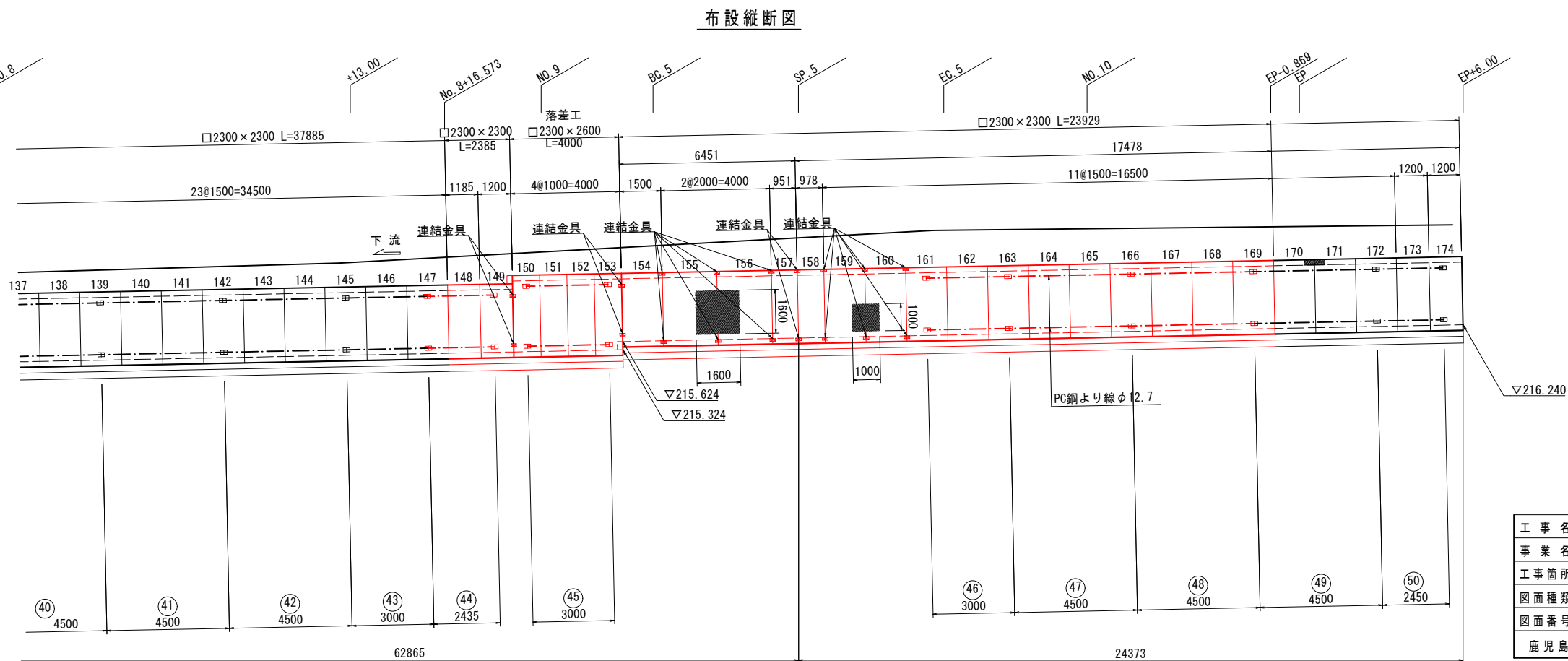
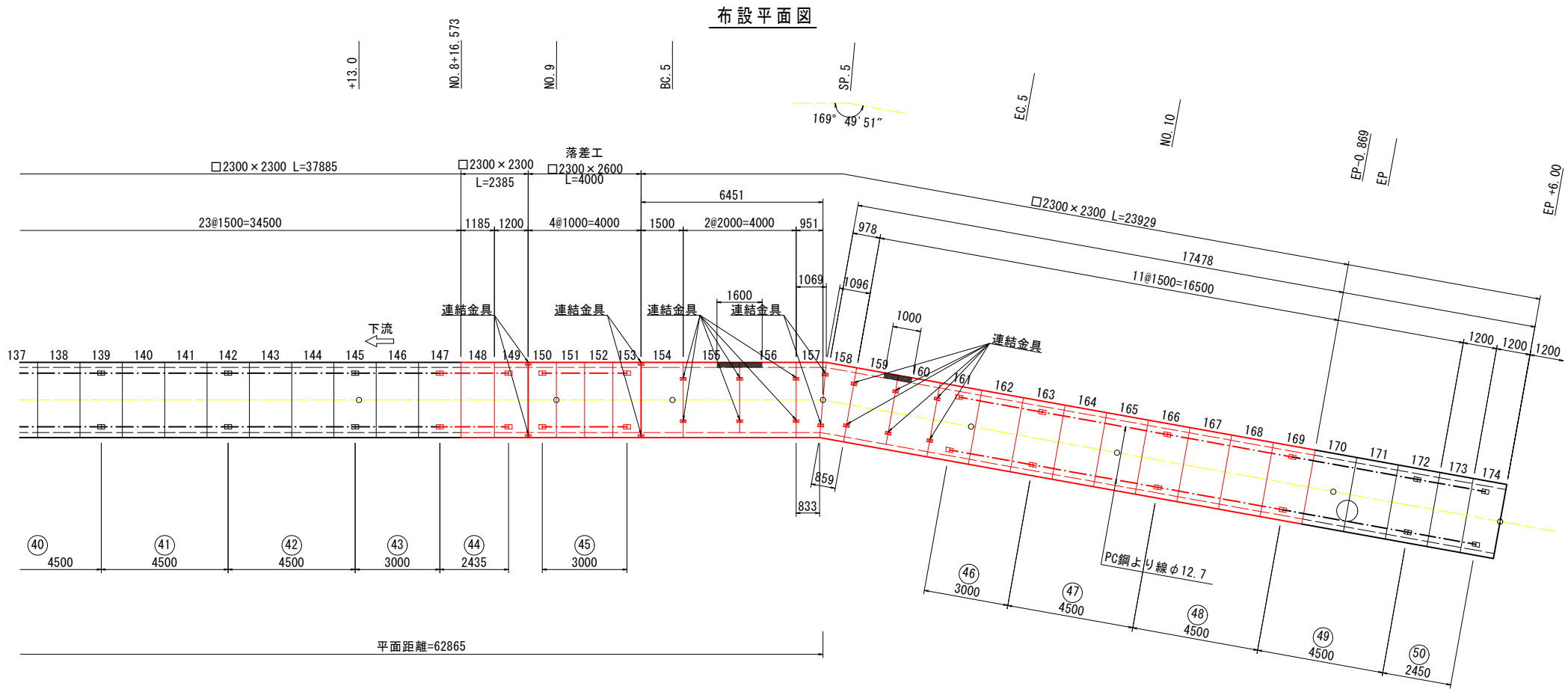
名 称	規 格	算 定 式	数 量	単 位
型 枠		$(2.66 + 0.20 \times 2) \times 0.30 + 1.90 \times 0.10 + 0.10 \times 0.10 \times 1/2 \times 2$	1.11	m <sup>2</sup>
鉄 筋	D13	$(0.30 \times 11 + 0.30 \times 11 + 2.48) \times 0.995$	9.03	kg
コンクリート	σck=24N/mm <sup>2</sup>	$2.66 \times 0.30 \times 0.20$	0.16	m <sup>3</sup>
樹脂カプセル	D13用	11 × 2	22.00	本

下部コンクリート壁（300型） 数量表

名 称	規 格	算 定 式	数 量	単 位
型 枠		$2.30 \times 0.10 + (2.30 + 1.90) \times 1/2 \times 0.20$	0.65	m <sup>2</sup>
鉄 筋	D13	$(0.30 \times 9 + 0.30 \times 9 + 2.10) \times 0.995$	7.46	kg
コンクリート	σck=24N/mm <sup>2</sup>	$2.66 \times 0.30 \times 0.20$	0.16	m <sup>3</sup>
樹脂カプセル	D13用	9 × 2	18.00	本

工 事 名	準用河川磯川改修工事（その５）
事 業 名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	落差工構造図
図面番号	全 11 の 6 作 製 令和 8 年 1 月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

ボックスカルバート布設図 S = 1 : 100



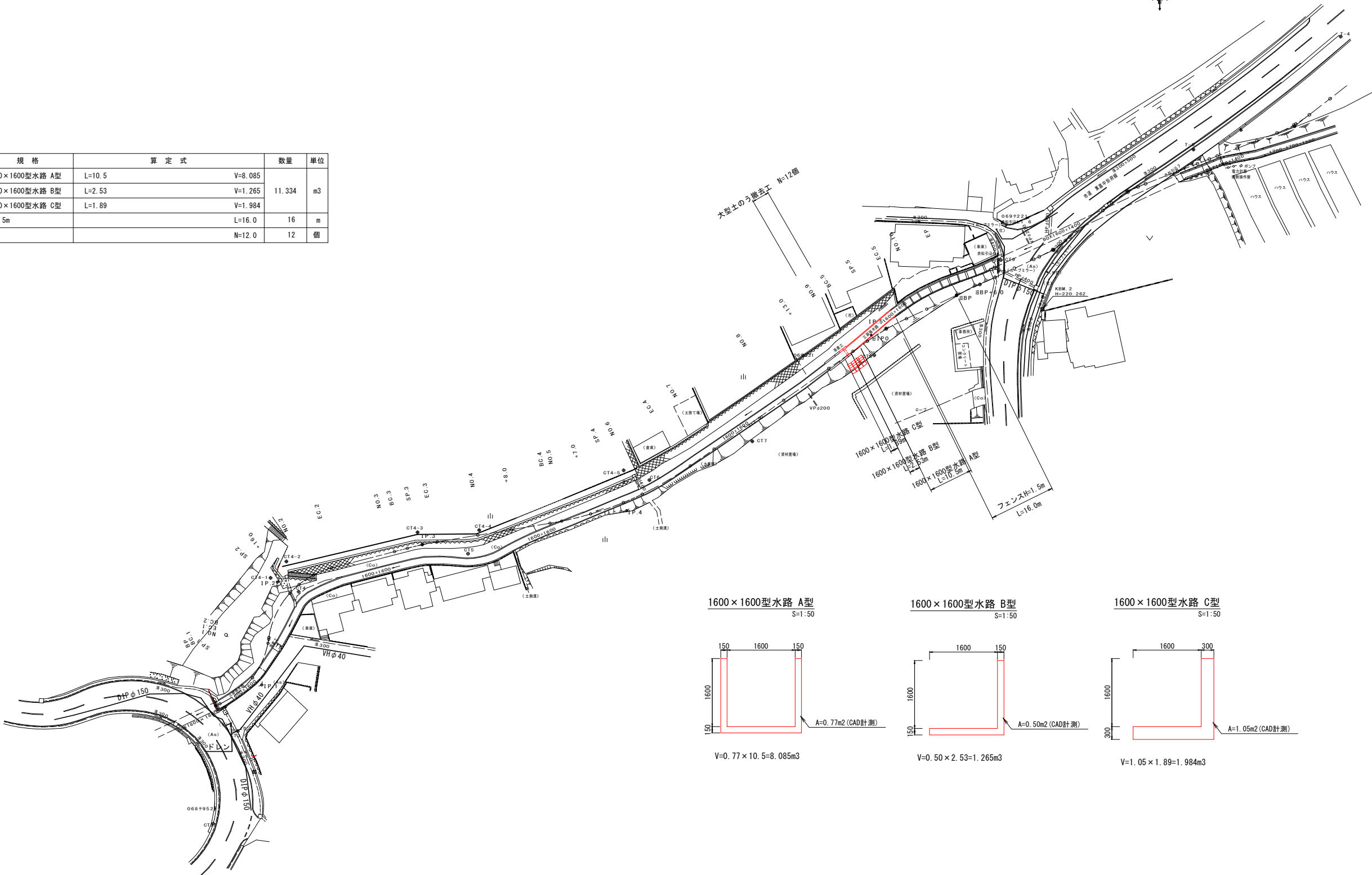
DL=205.00

工事名	準用河川磯川改修工事(その5)
事業名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	ボックスカルバート布設図
図面番号	全 11 の 7
作製	令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

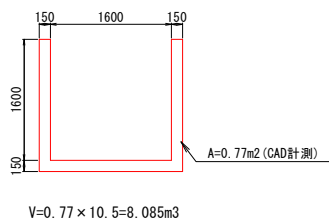
取壊工平面図 S=1:500

取壊工 数量表

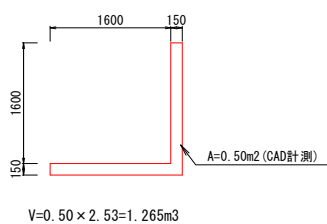
種 別	細 別	規 格	算 定 式	数量	単位
構造物取壊し	鉄筋コンクリート	1600×1600型水路 A型	L=10.5	V=8.085	11.334 m3
		1600×1600型水路 B型	L=2.53	V=1.265	
		1600×1600型水路 C型	L=1.89	V=1.984	
フェンス撤去工		H=1.5m	L=16.0	L=16.0	16 m
大型土のう撤去工			N=12.0	N=12.0	12 個



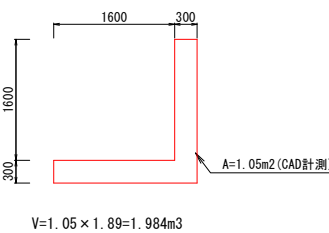
1600×1600型水路 A型  
S=1:50



1600×1600型水路 B型  
S=1:50



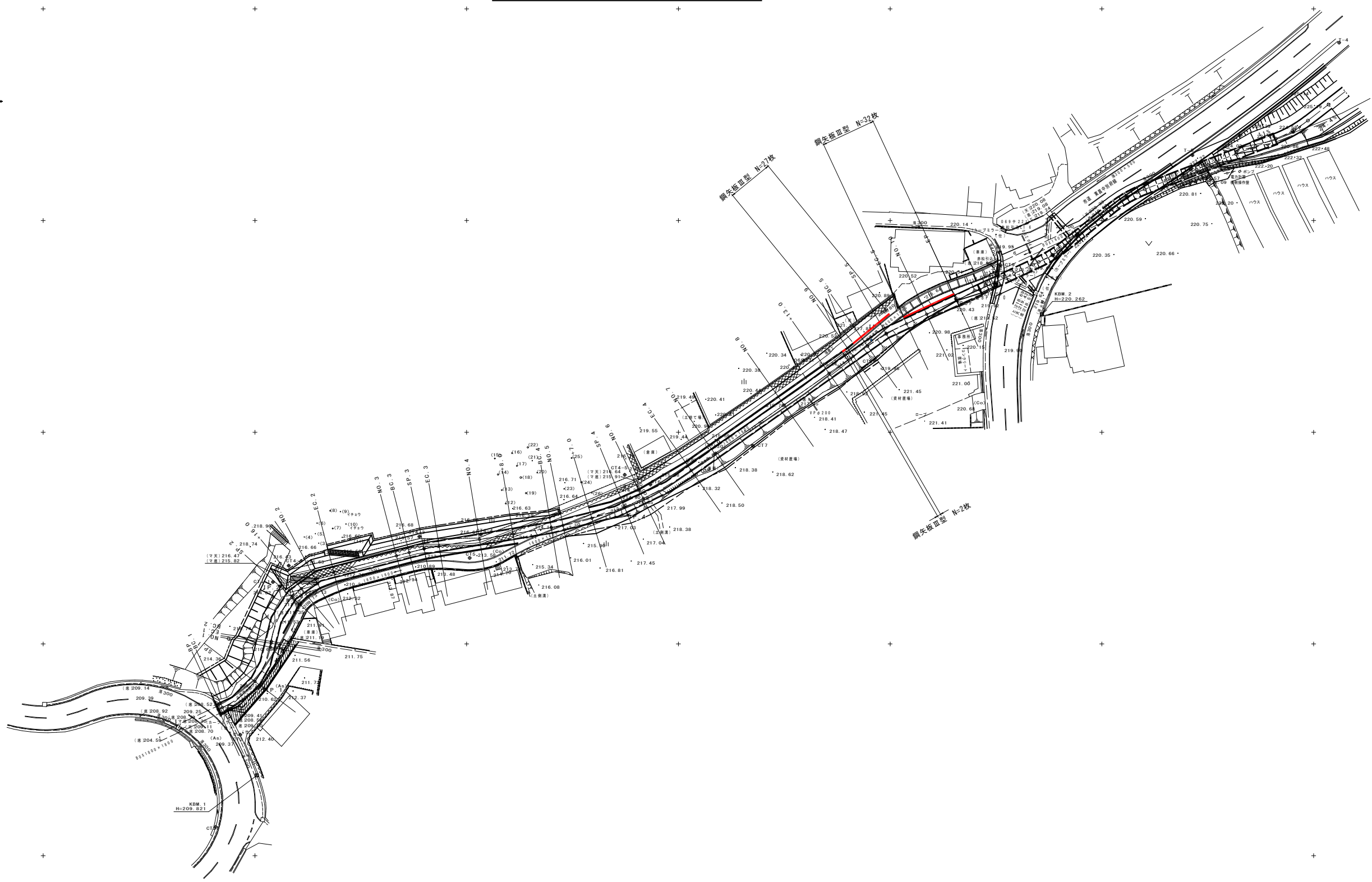
1600×1600型水路 C型  
S=1:50



工 事 名	準用河川磯川改修工事（その5）
事 業 名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	取壊工平面図
図面番号	全 11 の 8
作 製	令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	



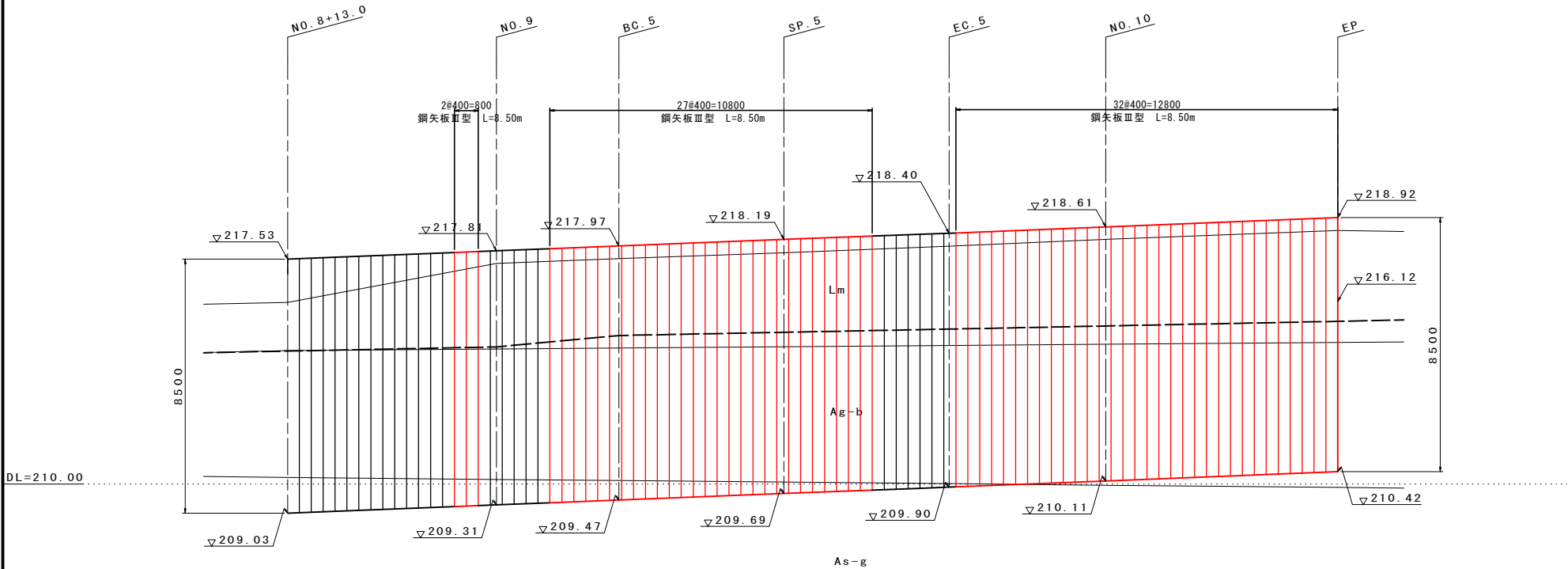
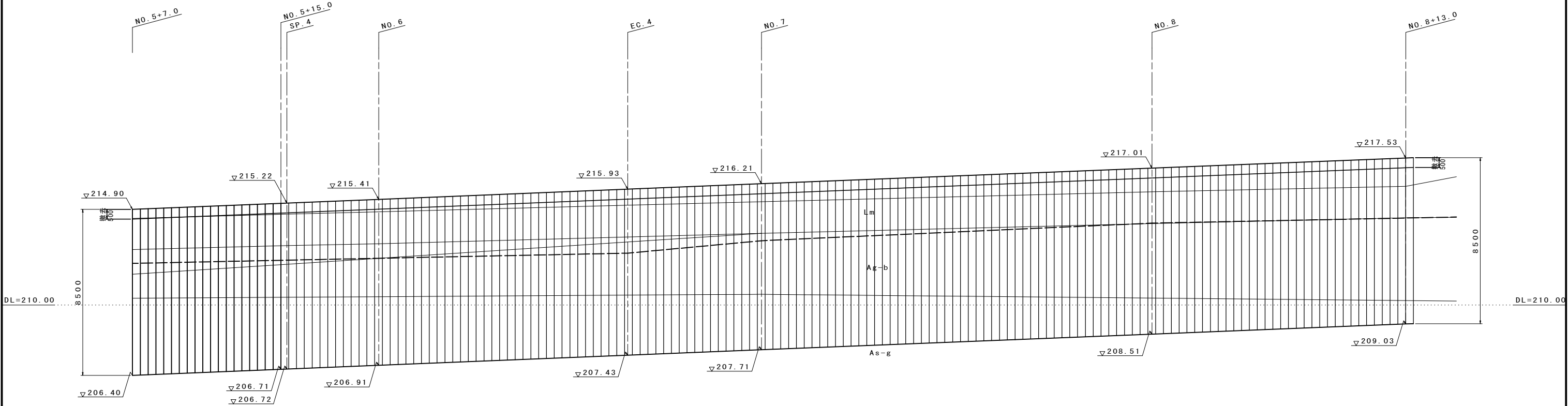
矢板工平面図 S = 1 : 500



工 事 名	準用河川磯川改修工事（その５）
事 業 名	準用河川改修事業
工事箇所	鹿児島市 吉野町
図面種類	矢板工平面図
図面番号	全 11 の 9
作 製	令和 8 年 1 月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

矢板工構造図 S = 1 : 100

仮設鋼矢板展開図



仮設矢板工 数量表			
種 別	長さ(m)	枚数	重量(t)
鋼矢板Ⅲ型	8.50	59.0	30.09
鋼矢板Ⅲ型(流用材)	8.50	2.0	1.02

工 事 名	準用河川磯川改修工事(その5)		
事 業 名	準用河川改修事業		
工事箇所	鹿児島市 吉野町		
図面種類	矢板工構造図		
図面番号	全 11 の 10	作 製	令和8年1月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

$$S = 1 : 100$$

種 別	細 別	規 格	算 定 式	数量	単位
掘削			$A = (25.88 + 18.54) \times 1/2 \times 20.0$	=444.2	440 m3
再生砕石	t=10cm	RC-40	$V = 14.6 \times 0.10 \times 20.0$	=43.46	43.46 m3
底張工	t=10cm	18-8-40		11.50	m2
大型土のう設置工		2tタイプ		4.00	袋

Figure 1 shows a circular cross-section of a concrete pipe. A horizontal red line represents the reinforcement, with a vertical dimension of 100 mm indicated on the left. The material is labeled 'コンクリート' (Concrete) and the properties are given as  $\sigma_{sk}=18\text{N/mm}^2$ ,  $t=10\text{cm}$ .